

授業評価アンケート

2023年度 後期

授業コード : 232165

授業科目名 : 吃音学

担当教員名 : 阿部 千佳

履修者数 : 24 名

回答者数 : 17 名

学部 :	医療福祉	17	現代社会	0	経営法/総合政策	0	工/科学技術	0
	無回答	0						
学科専攻 :	理学療法	0	作業療法	0	言語聴覚	17	視覚機能	0
	看護	0	保健福祉	0	生活福祉	0	現代社会	0
	経営法/総合政策	0	知能情報	0	建築環境	0	臨床工学	0
	無回答	0						
学年 :	1年	0	2年	0	3年	17	4年	0
							無回答	0

設問文	5	4	3	2	1	科目平均	大学平均	
A: 授業への取り組みについて								
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	14	2	0	0	1	4.65	4.37	
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	10	5	1	1	0	4.41	4.35	
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	13	3	1	0	0	4.71	4.29	
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	5	7	4	1	0	3.94	3.90	
B: 授業内容・方法・成果について								
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにチェックしてください(複数選択可)								
	対面授業	17	遠隔(meet)	0	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0
	遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	0	遠隔(テスト)	0	無回答	0
問6. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	12	5	0	0	0	4.71	4.57	
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	11	6	0	0	0	4.65	4.41	
問8. 授業中に質問しやすい環境でしたか	9	8	0	0	0	4.53	4.13	
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	12	5	0	0	0	4.71	4.42	
問10. シラバスまたは授業始めに掲示された到達目標は達成されましたか	10	6	1	0	0	4.53	4.41	
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	16	1	0	0	0	4.94	4.43	
C: 授業の全般的印象								
問12. 教員の熱意を感じましたか	16	1	0	0	0	4.94	4.56	
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	12	5	0	0	0	4.71	4.49	
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	14	3	0	0	0	4.82	4.49	

学生へのメッセージ

授業評価をありがとうございます。最近の吃音臨床は日々進化しています。吃音症は、言語聴覚士が非常に深く関わることが多い発話障害の1つです。言語治療も対症療法が多く、吃音症の患者様にとっては、軽度でも大変な思いをされている方が多くおられます。吃音症の重要なポイントは、患者様の症状を詳細に分析するところから始まります。また、合併例も多いため、正確な評価により、適切な訓練方針が立案されます。ぜひ、基本的な知識を繰り返し学修してください。今後、吃音臨床を実施することがある時には、講義内容を思い出していただければと思います。わからないことがあれば、いつでも質問にいらしてください。

